

いのちを守る、 教育環境を守る取組について




党 明
市 日南
議 市
員 議
 部 黒
 俊 泰

新型コロナウイルス対策について

問特別定額給付金は、確実に早くお届けすることが大切であるが、市民の銀行口座に、誤った金額が入金された。その原因を問う。

答人の手で入力となるので、その過程でそういったこともある可能性がある。いったん振り込むとチェックが難しいこともあるが、再度チェックするよう徹底したい。

再答確認したところ、2件の間違いがあったが、いずれも返金して頂いている。

問身寄りがなく、連帯保証人がいなくても市営住宅に入居できる配慮について見解を問う。

答現在、2人の保証人をお願いしているが、保証人要件の見直しや家賃債務保証事業者による保証制度の活用等を検討していきたい。

問避難所の感染症対策を問う。

答手洗い等の基本的対策の徹底、健康状態の確認、換気や屋内テントを活用した飛沫感染防止、発熱や咳等の症状が確認された方に専用スペースを確保する。また、一部避難所では、持病等をお持ちの

虚弱者用専用スペースの確保や、保健師の配置も行う。備蓄は感染防止用テント、消毒液やマスク等の衛生用品、空気清浄機を発注しており6月中には納品予定である。

小中学校における1人1台のパソコン早期整備について

問整備の完了時期と学校ネットワーク環境の整備完了時期、学校授業における活用開始時期を問う。

答タブレットは本年度中に整備完了は1月末を予定している。

問令和3年度からすべての小中学校においてタブレットを活用した授業ができるよう準備を進めている。



避難所備蓄 感染防止用テント

感染予防と経済活動の 両立を!!




自由民主
市 日南
議 市
員 議
 平 剛典

新型コロナウイルス感染症 経済対策について

問率直に今後どのような支援や対策を考えているのかを問う。

答現在の状況が長期化する恐れがある事を危惧している。これまでも、事業継続の為の支援金の給付や市内消費活動を促進する取組等、様々な支援を行ってきた。国の第二次補正予算において、家賃の3分の2を6ヶ月間分給付する制度が成立した。今後、市においても、事業継続に必要な支援の検討を行っていきたい。

問現在感染者ゼロの市内で経済を回す事をどう考えているのか。また今後、民間事業として市内でイベント等される場合の支援等の考えはあるのかを問う。

答今後は経済活動を回復させることが重要であり、積極的に活動を促すような取り組みが必要であると考えている。

イベント開催への支援については、今後検討をしていきたいと思うが、3密の回避など感染対策を十分に行えることなどの条件が必

要と考えている。

問市が主催または関係するイベントについて、現在中止が決まっているイベント名とその未執行予算の用途について問う。

答中止が決まっているイベントは、油津港まつり、ジャカランドまつり、南郷黒潮まつり、クルーズ船受入など16件。歳出予算ベースで約1500万円。ご指摘の中止イベント予算を含め、全庁的に未執行または執行困難な事業を精査し、コロナ対策にこの財源が充当できるよう、調整を行う。



観光資源である、街の賑わいを取り戻す!!

産業振興でピンチをチャンスに変える!!



自由民主党
日南市議団
谷口 慎二

新型コロナウイルス関連について

問市内経済に及ぼしている影響について産業別に現状を問う。

答農林水産業・製造業・小売業・観光業などすべてに対し影響が出ている。特にダーバン宮崎ソーイングが民事再生法の適用を申請するなど深刻な影響を受けている事業所もある。

問新型コロナウイルス対策において新庁舎建設設計見直しなど影響はないのか。

答令和5年3月末の完成を目指し実施設計に入っているが、窓口対応を含めた執務環境については、感染症対策を講じていくように検討していく。

教育行政について

問GIGAスクールによる端末配備の時期を問う。

答本年度中の配備を順次行っていく。

産業振興について

問有害鳥獣対策について今年度ICT技術を使った捕獲に対して予算化されたが内容を問う。

答大型囲い罠にセンサーカメラ、

もしくは罠管理用発信機・受信機を設置しスマートフォンアプリまた、専用受信機を介して捕獲を感じ

知するものであり、駆除班の監視業務が効果的かつ効率的に行われるものである。

問ICT導入を契機として現在の水産林政課から被害の大きい農政課へ所管替えした方が効果が高いと思うがどうか。

答市としても農政課で所管した方が効果的であると考え、関係団体の意見も伺いながら、来年4月から行っていく。



見廻りしなくいい罠

次期包括民営化では待遇の改善を図れ

ケアラ（介護者）支援 条例制定に向けて

ケアラ（介護者）に焦点を当てた社会的支援の手が及んでいないのが現状だ。影の存在である介護者に光をあて、社会的に認知させることを目的に、今年4月に全国で初めて、「埼玉県ケアラ支援条例」が制定され、介護者もようやく支援の対象となった。日南市も条例制定を取り組めないか。

問ケアラ（介護者）に焦点を当てた社会的支援の手が及んでいないのが現状だ。影の存在である介護者に光をあて、社会的に認知させることを目的に、今年4月に全国で初めて、「埼玉県ケアラ支援条例」が制定され、介護者もようやく支援の対象となった。日南市も条例制定を取り組めないか。

答介護者に適切な介護知識・技術を習得する「家族介護教室」を実施し、要介護4と5の介護者に紙おむつ、尿とりパットなどを支給している。そして、介護給付を1年間受けていない家族には慰労金を支給している。さらに、地域包括支援センターや理学療法士などを交えて、介護者の視点も考慮した介護サービスの向上に繋げている。現在、このような事業を行い支援しているので、条例の制定は考えていない。

問介護そのものへの支援も大事であるが、介護者が日常生活を営む上でも、精神的にも豊かに安心して暮らせる社会の支援が必要と思うが。

て暮らせる社会の支援が必要と思うが。

答条例制定は考えてないが、主な介護者の介護内容、仕事の勤務形態、不安なことなどの実態調査を行い、実態の把握に努める。

次期包括民営化の委託料算定は

問市は4月から会計年度職員制度が実施され、通勤手当やボーナスが支給されるが、委託料算定では当然、待遇の均衡を図る内容とすべきと思うが、どうするのか。

答次の契約時に、報酬額や通勤手当などの算定条件は、会計年度任用職員制度との均衡も考慮の上、今後検討を行う予定である。



委託職員による窓口手続サポート



社民クラブ
川口 和也

新型コロナウイルスと 河川災害対策について



自民党
令和の会
中尾 貞美

新型コロナウイルス対策について

問再流行に備え感染症対策は、農業関係について、新しい対策を考えているか。

答国の「高収益作物時期作物支援交付金」を活用し、花・果樹等について、市の農業再生協議会で取り進むこととしている。

問果樹関係ではクラフトビール製として日南産レモン農家から、感染拡大の影響でレモンの注文が減っていると聞いた。加工・流通・消費支援対策を講ずることはできないか。

答キャンセルマンゴーへのキャンペーンによるPR、学校給食への食材提供について、6月補正予算を提案している。

河川災害対策について

問城之下橋下流100m付近は、あと50cmから1m程度の土砂撤去はできないか。

答これまで行われてきた河川改修の断面と比較し、現在の河川断面の状況においても流下能力は確保されている。

問「城之下橋」下に低水護岸プロッ

クの施工の要望はできないか。

答現時点での要望は効果がない。

広渡川の北郷河川の整備について

問楸ロビンフッド付近の河川が決壊する可能性を想定して、日南土木事務所と連携がとれているか。

答「日南市県道河川整備期成同盟会」において、引き続き河川改修の早期整備を強く要望していく。

林道の整備について

問分収林事業者が山林保育を行う道路補修はできないか。

答計画的に行っていく。



本町橋上流台風時河川状況

目に見えぬ敵 新型コロナウイルス



自民党
令和の会
北川浩一郎

感染拡大防止について

問帰省をキャンセルした方に、マンゴーを贈呈する取組の実績と効果を問う。

答69件の応募があり、32件の該当者であった。県外からの往来自粛メッセージ発信と、消費が落ち込む懸念のあった、日南産マンゴーのPR効果があった。

経済対策について

問経済好循環推進事業の10万つかエール百貨の周知方法を問う。

答市の公式ホームページや広報誌等で周知している。

ネット環境がない方も利用できるよう、冊子等を作成するなど、幅広い層への周知方法を工夫したい。

問10万つかエール百貨を将来的に活用できないか問う。

答10万円の使途に限定せず、本市の魅力的な特産品等の情報発信に活用したいと考えている。

教育行政について

問長期の自宅待機であったが、通常授業日数を確保できるのか問う。

答児童生徒および教職員の負担を

考慮した上で、夏休みの短縮、行事の見直し、時間割の工夫など、年間を通し方策を検討した。学校の状況に応じ時数を確保するよう通知した。

今後の取組について

問「密」状態になりやすい都市部からの移住・定住や企業誘致に力を入れる考えはないか問う。

答都市部の人々の、新たな「暮らし方」や「働き方」が広がっていくと考える。県の補助金を活用した、新しい移住の仕組みづくりの事業を提案しているところである。また企業誘致についても、企業ニーズの把握を行い、誘致活動を行っていきたい。



「#日南10万つかエール百貨」ホームページの写真

審議結果一覧

※令和2年第2回臨時会の審議結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報 告 第 1～8 号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
議 案 第 52 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	原案可決
議 案 第 53 号	日南市コミュニティバス運行に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 54 号	日南市固定資産評価員の選任について	—	原案同意
議員提出議案 第 7 号	社会資本の整備促進を求める意見書	—	原案可決

※令和2年第3回定例会の審議結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報 告 第 9 号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	—	終了
報 告 第 10 号	北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について	—	終了
報 告 第 11 号	令和元年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	終了
報 告 第 12 号	令和元年度日南市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	—	終了
報 告 第 13 号	令和元年度日南市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	終了
報 告 第 14 号	令和元年度日南市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	終了
報 告 第 15 号	令和元年度日南市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—	終了
議 案 第 55 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	原案可決
議 案 第 56 号	日南市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第57～58号	財産の取得について	原案可決	原案可決
議 案 第 59 号	日南市立公民館条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 60 号	日南市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 61 号	日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 62 号	日南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 63 号	日南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 64 号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 65 号	日南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議 案 第 66 号	市道路線の認定について	原案可決	原案可決
議 案 第 67 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	原案可決
議 案 第 68 号	松原団地第9アパート住戸改修建築主体工事の請負契約の締結について	原案可決	原案可決

採決結果一覧

賛否の分かれた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。

なお、表中の記号は次のとおりです。(○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長)

議案番号	議案名	審査結果	平剛典	鈴木和枝	松岡祐樹	柿原聡子	富士洋一	杉尾麻起子	北川浩一郎	郡司誠秀	谷口慎二	黒部俊泰	山田和一	川口幸雄	前田幸憲	岩永憲明	濱中武紀	和足恭輔	安竹博	中尾貞美	井福秀子	採決結果
議案第55号	令和2年度日南市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	原案可決
議案第59号	日南市立公民館条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	原案可決
議案第60号	日南市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	原案可決

注1) 議長は採決には加わりません。

注2) 議案の賛否は原案についての表決です。

❖❖❖議会について知りたい! そんな方はコチラ!!❖❖❖

議員と意見交換会

(新型コロナウイルス感染症の状況によっては、お断りすることもありますのでご了承ください。)

市民の皆様と気軽に意見交換を行い「市民の声を市政に反映させること」を目的に、市民の団体等からのお誘いや要請があれば、出前による市民と語る日南市議会を行います。

対 象：市内の10名以上の団体等

開催場所：市内でできる場所であればどこでも可能です。お申し込みの団体で確保してください。(3密を避けるため、可能な限り広いスペースが確保できる場所をお選びください。)

開催日時：議会日程等で開催できない期間がありますので、第3希望までお知らせください。お申し込みいただいてから、調整により決定させていただきます。(※開催時間は、概ね1時間程度です。)

テ ー マ：お申し込みの団体で、意見交換会のテーマをお決めください。

申込方法：開催希望日の1か月前までに、日南市議会事務局
(電話:**31-1142**)にお電話でお申し込みください。



議 会 日 誌

(5月から7月 抜粋)

【5月】

- 1日 議会費活用に関する市長申入れ
- 13日 議会運営委員会
- 15日 第2回臨時会、委員会審査、会派代表者会議
- 19日 宮崎県市議会議長会会計監査

【6月】

- 5日 全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 15日 第3回定例会開会、会派代表者会議、広報広聴委員会
- 16日 本会議(質疑)、予算審査特別委員会全体会議
- 18日 東九州自動車道・国道220号要望活動(web)
- 24日 本会議(一般質問、25日まで)、議会運営委員会、議会改革推進特別委員会
- 25日 本会議(一般質問、追加議案提案、質疑)、予算審査特別委員会全体会議
- 29日 文教厚生委員会審査、産業建設委員会審査
- 30日 総務市民委員会審査

【7月】

- 3日 本会議(閉会)、総務市民委員会、全員協議会、予算審査特別委員会全体会議、総合交通・産業活性化対策特別委員会、広報広聴委員会
- 13日 交通安全啓発キャラバン隊メッセージ伝達式、宮崎県市議会議長会臨時総会、県議会議員要望・意見交換会
- 15日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 16日 県道河川整備促進期成同盟会要望活動
- 17日 宮崎県市議会議長会臨時総会、県知事要望・意見交換会
- 20日 第4回臨時会、会派代表者会議、全員協議会
- 22日 高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会、宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会
- 27日 後期高齢者医療広域連合議会運営委員会
- 28日 県議会視察

新型コロナウイルス研修を 開催しました!

4月に議場にて愛泉会日南病院の峰松俊夫医師を講師に迎え、健康増進課職員と共に新型コロナウイルスについて研修を受けました。当時はメディアの情報も錯綜する中で、議員がしっかりと正しい情報を持つ事と、今後の行政課題を知る上でも貴重な研修となりました。一番心に残っているのが「医療崩壊は社会崩壊に繋がる」だからこそ私達は医療現場を崩壊させないように感染を未然に防ぎ、医療も社会も守らなければならないということです。手洗いやマスクといった少しの対策で多くの感染症を防ぎ、自分だけでなく皆様にとって大切な誰かも守れます。これから暑い時期となりますが、栄養と水分を取り免疫力を高めましょう!



● 議会はインターネットでも ご視聴いただけます!



日南市議会の本会議は、インターネットでのライブ中継・録画放映でご視聴いただけます。パソコンをご利用のかたは『<http://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>』から、スマートフォン・タブレットをご利用の方は、右のQRコードからアクセスください。

令和2年9月定例会 開催予定

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ● 9月7日(月) 本会議(開会) | ● 9月29日(火) 本会議(採決、決算総括) |
| ● 9月8日(火) 本会議(質疑) | ● 9月30日(水)~10月2日(金) 決算審査委員会 |
| ● 9月16日(水)~18日(金) 本会議(一般質問) | ● 10月6日(火) 本会議(閉会) |
| ● 9月23日(水)~25日(金) 委員会審査 | |

編集後記

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の中、お亡くなりになられた方々に対して、心からお悔やみを申し上げますとともに、現在におきまして、大変なご苦労の中で生活をされている方々に対して心からお見舞いを申し上げます。

緊急事態宣言は解除されましたが、感染症対策は密閉、密集、密接の3密を避けるとともにソーシャルディスタンスを確保することが大切なこととはちろん、「もしも、自分が感染していたら」と想像して、人にうつさない配慮、思いやりの行動を心がけていきたいと思えます。

市内小中学校におきましては、全ての教室にエアコン整備が完了し、夏場の授業の熱中症対策が前進しました。また、教育機会の確保のための1人1台のタブレットは、今年度中に配備完了予定です。そして、令和3年度から、授業での活用が開始される予定です。今後におきましても、行政の監視と政策提言の取組を推進して参ります。

【広報広聴委員会】

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 和 恭 |
| 副委員長 | 松 祐 |
| 委員 | 鈴木 樹 |
| 委員 | 黒部 俊 |
| 委員 | 黒部 泰 |
| 委員 | 岩永 憲 |
| 委員 | 黒部 明 |